

J A 富士市

自己改革の経過報告

～ 新たなるステージへの挑戦 ～



令和元年 6 月

これまでの取り組み内容

J A富士市では、平成 27 年 1 月に策定した「静岡県 J A グループ自己改革実践計画大綱」に基づき、「農家組合員の農業所得の向上」と「地域社会への適切なサービス提供」を柱とし、投入する経営資源（ヒト・モノ・カネ・情報）を基準年度の投入経費に対し 5 年間で 30% アップする自己改革に取り組んでいます。

これまで、営農支援事業の助成、生産コストの削減、特産化に向けた共選場施設の更新、新規作物の「わさび苗」の生産および出荷が始まるなど、様々な取り組みを行っております。

また、平成 29 年度には正組合員と准組合員を無作為に抽出したアンケート調査を実施し、様々な意見・要望に対し事業運営に反映させていただいております。

そのような中、平成 30 年度の自己改革の結果について組合員の皆さんにご報告するとともに、令和元年度についても引き続き取り組んでまいります。

【最新光センサー選別機】



【子育て支援教室】



【わさび苗視察】

組合員の「思い・願い」を受け止めた活動

自己改革の取り組みにあたっては、話し合いを通じて組合員の「思い・願い」を受け止めてきました。意見交換会を通じて出た意見につきましては、今後、自己改革への取り組みの参考とさせていただきます。

組合員アンケート調査の実施

組合員の皆さまの期待に応え、魅力ある地域の農業や暮らしを支えるJAとなるよう、全組合員 28,719 名（正組合員 5,614 名と准組合員 23,105 名）へ 1 軒 1 軒訪問し、アンケートを実施しました。

皆さまのご協力により、正組合員 4,205 名（回答率 74.90%）、准組合員 16,542 名（回答率 71.59%）から回答をいただき、今後の事業運営に反映させていきます。



各組織との話し合い

組合員の声を反映させるため、生産部会や各部会等の話し合いの場で「意見・要望等」を伺ってきました。

組合員の声

- ・肥料、農薬のコスト削減を継続して欲しい。
- ・営農担当者の資質の向上、指導員の増員。
- ・圃場巡回等の開催を多く実施して欲しい。
- ・農産物の販路を拡大したい。
- ・新規作物への導入費用を助成して欲しい。

対 応

- ・生産者に合った肥料(19品目)、農薬(32品目)を選定し、価格引下げを行いました。
- ・営農指導員の育成と栽培暦に基づいた生産指導を行いました。
- ・担当役員と農家訪問を実施し、延べ 1,390 名の農家と意見・要望を反映しました。
- ・地元量販店の 2 店舗に産直市を出店し、販路拡大に努めました。
- ・種子、苗等の提供・助成を行いました。



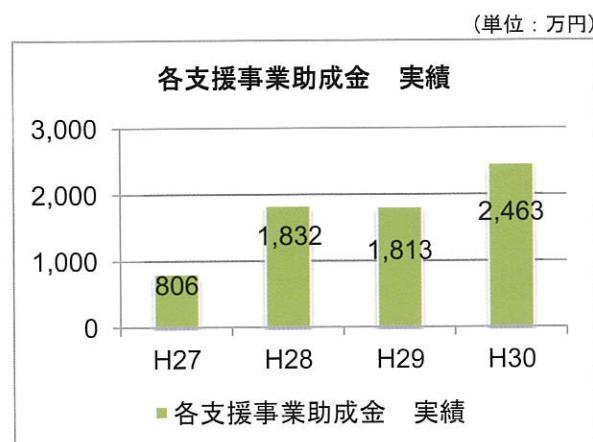
農家組合員の農業所得の向上

生産者組織を通じて個々の農業経営と産地力の維持・向上に取り組みます。

當農支援制度の充実化

當農支援を目的とした助成措置として、平成 30 年度は新たに「農業機械導入支援事業」を新設し、設備投資費用の削減、作業負担の軽減、効率化に向けて支援をしました。

支援事業名	平成30年度	
	件数	金額
茶園等転換作物支援事業	34	296
鳥獣害対策事業	61	102
農業用生産資材導入支援事業	41	326
茶園中切り支援事業	97	599
柑橘・落葉果樹苗木導入支援事業	46	40
農業機械導入支援事業	97	1,100
合 計	376	2,463



成果

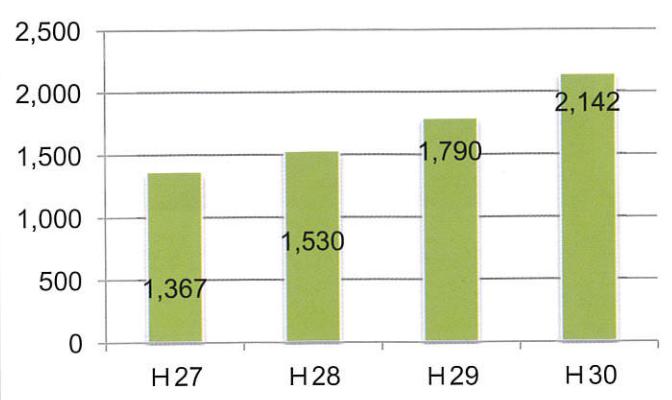
4 年間で 1,068 件 6,914 万円を助成し、農家組合員の経営の安定に寄与しました。

肥料・農薬の価格引下げによる生産コストの削減

生産資材価格を抑制するため、肥料・農薬を特別価格商品で販売しました。平成 28 年度の肥料 11 品目・農薬 21 品目から年々重点品目増やし、平成 30 年度は、肥料 19 品目・農薬 32 品目まで拡大し、価格の引き下げに努めました。

(単位：万円)

肥料・農薬の価格引下げ額合計



成果

各地区、生産物にあった重点品目を検討し、年度内でも都度見直しを行うなどして農家・組合員のニーズに見合う、肥料・農薬の特別価格商品を販売し、生産資材価格の抑制を行いました。

農家組合員の期待に応える営農指導の強化

現場指導の経験を培うため、県農林事務所と連携し、営農指導員の資質向上、栽培歴に基づいた営農指導の実施に努めました。

また、新規作物を自ら栽培・研究し、導入と栽培普及に努めました。

成果

農家・組合員の圃場に出向き、栽培状況や生産者の課題等を共有し、指導員としての知識向上に努めました。

また、産直市部会員へ野菜苗（キャベツ・白菜・レタス・ブロッコリーなど）を 128 穴トレーで 136 枚供給しました。



生産・販売の一体的な取り組みによる販売力の強化

農業所得の向上に寄与するために、各地区の産直市の販売だけでなく、地域の皆さんに新鮮な野菜を提供できるように、地元量販店との連携、販路拡大に努めてきました。

成果

地元量販店の新店舗オープンにあわせ、地元で生産された新鮮野菜が提供できる産直市出荷ブースを確保し、平成 30 年度は 2 店舗への参入に繋がりました。



地域社会への適切なサービスの提供

協同活動を通じて暮らしやすい地域づくりに取り組みます。



こども食堂

女性部のサポートにより、支店に併設している調理施設を活用し「こども食堂」を開設し、「栄養バランスが取れた温かい食事」と「地域の人々とのふれあい」を通じ、未来を担う子供たちと子育てに奮闘する保護者の支援、豊かで暮らしやすい地域社会の実現に努めました。

成果

原田支部・富士支部の女性部の協力と農家・組合員から食材の寄付により両支部が平成30年6月にオープン。栄養バランスが取れた食事を提供し、近隣の子供たちが地産地消メニューを堪能し、1,119名の地域の皆さんに食していただきました。



准組合員との交流

新規加入組合員にJAの事業への参加、参画を図るとともに農業やJAに対する理解を深め、交流を通じて仲間づくりに努めました。

また、広報誌やタブロイド誌を活用し情報発信に努めました。

成果

新規加入の約700人の組合員の方に、森永卓郎氏の講演会チケットプレゼント募集や、初めて准組合員イベント「新米おむすび」を企画し、施設見学や新米でおむすび作りを行い、7家族23名参加により親睦を深めることができました。

組合員の皆さまにお知らせ

産直市スタンプラリー のご案内



7月1日～9月20日の間、抽選で100名様に
1,000円相当の「野菜・産直產品詰め合わせ」が当たる
産直市スタンプラリーを実施します。

ご案内・応募用紙は、6月末に郵送で届きます
「出資配当金のお知らせ」の中面にありますので、ご活用
下さい。大勢の方のご参加をお待ちしています。

417-0046
富士市青島200-1
農協 太郎 様

おいしいをつどりません。
JA 静岡県のJA

【出資配当金のお知らせ】
在中

親展

①から裏面にお書きください。②

組合員様感謝キャンペーン

日頃より、組合員様の農業事業をご利用いただき誠にありがとうございます。これから暑い夏がやってきます。地元の新鮮な野菜をしっかりと食べて、暑い夏を乗り切って頂きたいと思い、産直市スタンプラリーを企画しました。スタンプラリーの概要は以下の通りとなっていますので、奮ってのご参加をお待ちしています。

1) 対象期間

令和元年7月1日～令和元年9月20日

2) 応募方法

富士市農業協同組合の産直市を3カ所めぐりスタンプを塗め9月20日までに各支店もしくは各産直市に提出してください。(産直市にてお買い上げの方にスタンプを押印します)

3)賞品

応募者のから抽選により、1,000円相当の「野菜・産直產品詰め合わせ」を100名様にプレゼント

4) その他

当選のお知らせは、JA職員が10月1日～10月31日の間に、賞品のお届けをもって代えさせていただきます。

産直市スタンプラリー
応募用紙

1	2	3
---	---	---

対象期間 令和元年7月1日～令和元年9月20日

対象産直市

まごころ市(本店ほか)	ふれあい元市(本店ほかほか)
野菜工房うきうき畑(本店ほかほか)	すど良心市(本店ほかほか)
産直市いづみの里(今東まち内)	北越産直きずな(本店ほかほか)
伝法産直いしいき市(本店ほかほか)	大洲ある里村(本店ほかほか)
ちょっとよって農の市(本店ほかほか)	古永野原市(本店ほかほか)
ポケットファームかじま(本店ほかほか)	田子っこ産直市(本店ほかほか)
岩本山産直市(本店ほかほか)	かりがね産直市(本店ほかほか)
ふじかわ産直市(本店ほかほか)	

※場所・営業時間等はJA富士市HPへ→
<http://fujijaeishioka.or.jp/>または支店窓口にて、ご確認下さい。
※別、あじのくに産直市は対象外です。

わたしたち JA富士市は、

自己改革

を着実に実践し、「農家組合員の農業所得の向上」と
「地域社会への適切なサービス提供」を実現します。

おいしいをつくりましょ。

 富士市農業協同組合